

地域のことを知りたい！ 地域の役に立ちたい！ 【宮原小学校6年生】

ゲストティーチャーに地域の組織や団体、企業の方々を迎え、地域とのつながりで意識していること、やりがいや喜び、困っていることや地域の課題などを中心にたくさんのことを教えていただきました。

地域の方々に子どもたちのグループを順に回っていただき、大切な内容を楽しくコミュニケーションをとりながら学びました。今後、今回取り上げられた課題の解決に向けて、6年生なりに考え地域に提案して行く予定です。



子どもたちの声

- 自分たちも地域の課題や悩みについて考えていきたい。
- 宮原のよいところを楽しそうに話してくれてうれしかった。
- 宮原のためにがんばっている人と一緒に自分もできることをしたいと思った。
- 時間がとても短く感じた。

地域の方々の声

- 6年生の考えが聞けて、いい勉強になった。
- 伝統芸能を宮原に残していきたいという思いや、それについての悩みを聞いてもらってよかった。
- 公民館を知ってもらういい機会になった。
- 子どもたちの素直な考えを、今後の仕事や活動に生かしていこうと思う。



休憩時間に



田んぼの学校「食べ物や命の大切さを学ぶ」

【糸我小学校】

糸我小学校では糸我地区青少年育成会の方々と、「昔ながらの稲作」で、種まき、苗取り、田植え、草取り、稲刈り、脱穀を体験しています。

また、平成14年より除草剤を使わない「アイガモ農法」にも挑戦しています。子どもたちは、6月に雛を田んぼに放鳥し、夏休み中、アイガモの小屋を掃除したり餌やりをしたりと世話をしました。おかげで稲も良く育ち、8月にはアイガモの引き上げ作業を行いました。



苗取り



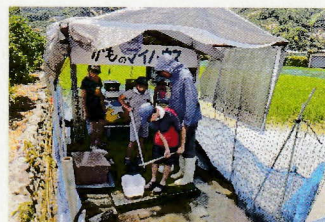
田植え

10月には、田鶴小学校の5年生を招待し、一緒に稲刈りをしました。作業を通して、子どもたち同士や小学生と育成会の方々との交流を深めました。

「田んぼの学校」の山崎校長(糸我地区青少年育成会)は、「活動に多くの方が協力してくださり、子どもたちとの交流を楽しみにしています。これからも郷土に誇りと愛着を持って取り組んでいきたいです。」と嬉しそうに話していました。



放鳥



アイガモの世話



アイガモの引き上げ



稲刈り・脱穀